

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

J/P 2004/003891

3891

22. 3. 2004

#2

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 3月25日
Date of Application:

出願番号 特願2003-082806
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP 2003-082806]

REC'D 13 MAY 2004	
WIPO	PCT

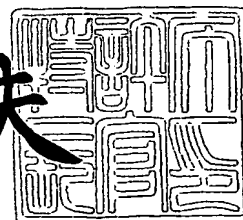
出願人 株式会社ミツバ
Applicant(s):

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 4月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2004-3034398

【書類名】 特許願

【整理番号】 02P00338

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B60R

【発明者】

 【住所又は居所】 群馬県桐生市広沢町一丁目二六八一番地 株式会社ミツ
 バ内

 【氏名】 高橋 佳弘

【発明者】

 【住所又は居所】 群馬県桐生市広沢町一丁目二六八一番地 株式会社ミツ
 バ内

 【氏名】 深沢 陽介

【発明者】

 【住所又は居所】 群馬県太田市西新町 1 3 5 - 1 0 株式会社大嶋電機製
 作所内

 【氏名】 梅澤 隆男

【発明者】

 【住所又は居所】 群馬県太田市西新町 1 3 5 - 1 0 株式会社大嶋電機製
 作所内

 【氏名】 石澤 資右

【特許出願人】

 【識別番号】 000144027

 【氏名又は名称】 株式会社 ミツバ

【代理人】

 【識別番号】 100085394

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 廣瀬 哲夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 055158

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0011277

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サイドウインカー付きのドアミラー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ハウジングに、ミラー部と、サイドウインカー部とを設けてなるドアミラーにおいて、サイドウインカー部のハウジングへの組込みは、ミラー部とは反対の方向からなされるとともに、サイドウインカー部のハウジングへの固定部は、ハウジングを覆うキャップにより覆蓋されているサイドウインカー付きのドアミラー。

【請求項 2】 請求項 1 において、サイドウインカー部は、光源を背面から露出するインナーベースと、インナーベースの表面を覆蓋し、光源に電源供給する基板をインナーベースとのあいだに内装するアウターベースとを備えたベース体に、インナーベースの背面を覆うレンズ部を一体化してなるランプユニットに構成され、ベース体とレンズ部とは射出された樹脂材により一体化されているサイドウインカー付きのドアミラー。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 において、サイドウインカー部は、ベース体側に設けられた取付け片を介してハウジングに固定されているサイドウインカー付きのドアミラー。

【請求項 4】 請求項 1、2 または 3 において、キャップは、サイドウインカー部のレンズ部と略面一状に設けられているサイドウインカー付きのドアミラー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、車両のドアに装備されるサイドウインカー付きのドアミラーの技術分野に属するものである。

【0002】

【従来の技術】

一般に、この種ドアミラーのなかには、サイドウインカー（サイドターンランプ）を組込んだものが知られている。そして、このものでは、車両の側部から側

方に突出するドアミラーの、さらに突出外端部にサイドウインカーが組込まれることから、後続車にとっても視認性がよく、サイドウインカーの取付け箇所として好ましいものとなっている。

このようなものとしては、例えば、ベースに、光源を有する基板を固定するとともに、該ベースを覆うレンズを一体化してサイドウインカー部を構成し、該サイドウインカー部をドアミラーのボディーであるドアミラーハウジングに形成した開口部に取付けるようにしたものが提唱されている（例えば、特許文献1参照。）。）。。

【0003】

【特許文献1】

特開2002-079878号公報

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかるに、前記特許文献1のものにおいて、サイドウインカー部は、ミラー部の背面側に位置する状態でドアミラーのハウジングに設けられるものであるが、ミラー部配設側（表面側）から組込まれており、サイドウインカー部の外周縁部を、ドアミラーハウジングに開設された開口縁部に係止する状態とし、サイドウインカー部のミラー部側に配設された取付け片を、ドアミラーハウジング側の支持部に螺合することにより、ドアミラーハウジングに取付けられる構成となっている。このため、サイドウインカー部は、ミラー部を組込む以前の段階で組込まれる必要があり、このように構成されたものでは、サイドウインカー部の光源が消耗、破損等して、サイドウインカー部のみを交換しようとした場合に、サイドウインカー部を取外す前にミラー部を予め取外さなければならず、サイドウインカーの交換作業がいちいち面倒、かつ、煩雑となってメンテナンス性に劣るという問題があり、ここに本発明が解決しようとする課題があった。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記の如き実情に鑑み、これらの課題を解決することを目的として創作されたものであって、ハウジングに、ミラー部と、サイドウインカー部とを

設けてなるドアミラーにおいて、サイドウインカー部のハウジングへの組込みは、ミラー部とは反対の方向からなされるとともに、サイドウインカー部のハウジングへの固定部は、ハウジングを覆うキャップにより覆蓋されているとするものである。

そして、このようにすることにより、ハウジングからミラー部を取外すことなくサイドウインカー部を取外すことができ、メンテナンス時の作業性を高めることができる。

このものにおいて、本発明のサイドウインカー部は、光源を背面から露出するインナーベースと、インナーベースの表面を覆蓋し、光源に電源供給する基板をインナーベースとのあいだに内装するアウターベースとを備えたベース体に、インナーベースの背面を覆うレンズ部を一体化してなるランプユニットに構成され、ベース体とレンズ部とは射出された樹脂材により一体化されているものとすることができ、このようにすることにより、サイドウインカー部を防水性、意匠生の優れたものにできるうえ、ハウジングに取付ける際に、防水性等を考慮することなく容易に取付けることができる。

さらに、このものにおいて、本発明のサイドウインカー部は、ベース体側に設けられた取付け片を介してハウジングに固定されているものとすることができ、このようにすることにより、サイドウインカー部の光の漏れを防止することができる。

また、このものにおいて、キャップは、サイドウインカー部のレンズ部と略面一状に設けられているものとすることができ、このようにすることにより、より意匠性を高めることができる。

【0006】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態の一例を図1～図12の図面に基づいて説明する。

図面において、1は乗用車に配設される運転席側のドアおよび助手席側のドアに取付けられる左右一対のドアミラーであって、これらドアミラー1は線対称状態に形成されている。図1に示すドアミラー1は、右ハンドルの車両の助手席側に取付けられたものを、車両の後方から見た正面図に相当している。そして、

本実施の形態のドアミラー 1 は、運転者が後方を確認するためのミラー部 M とともに、該ミラー部 M の背面側下半部に設けられ、左右方向突出端部（外方端部）部位が点灯して車両の走行方向を指示するサイドウinker 部 S（方向指示装置）が設けられている。

【0007】

前記ドアミラー 1 を構成するミラーハウジング（ドアミラーハウジングであって、本発明のハウジングに相当する）2 は樹脂材で一体成形されており、前面（表面）に第一開口部 H 1 が形成され、後方に膨出する膨出部 2 a を備えた湾曲容器形状をしており、前面の第一開口部 H 1 に、ミラー部 M を構成するミラー 3 および該ミラー 3 の背面に取付けられ、ミラー 3 の三次元的な位置調整を自動的に行うためのミラー駆動機構 3 a が配設されている。さらに、ミラーハウジング 2 背面の膨出部 2 a には、下方側部位に位置して第二開口部 H 2 が開設されており、該第二開口部 H 2 に、サイドウinker 部 S が組込まれるように設定されている。

因みに、ミラーハウジング 2 のドア側の端部（基端部）2 b には、ドアミラー格納機構（図示せず）が内装されており、スイッチ操作に伴うドアミラー格納機構の駆動に基づいて、ミラー 3 が後方に向けて外方に突出する実用姿勢と、ミラー 3 がドアに沿う格納姿勢とのあいだを、予め設定される角度範囲において自動的に回動変姿するように構成されている。

【0008】

さて、サイドウinker 部 S は、本発明が実施されたランプユニット L U により構成されており、インナーベース 4 と、アウターベース 5 と、レンズ部 6 とを備えている。そして、このランプユニット L U は、ミラーハウジング 2 下半部のドア取付け側（基端側）部位から外方に突出する端部（先端部）に至る部位に組込まれる形状となっており、左右方向に長く、かつ、背面側に向けて膨出し、そして、突出先端部位では、背面側から表面側に向けて湾曲する側面部と、ドア取付け側の基端側部位であって基端側ほど先鋭状となるよう、下縁が上縁に向けて傾斜する傾斜状部とが形成されている。

【0009】

つぎに、ランプユニット L U を構成するインナーベース 4 について説明するが、インナーベース 4 は、光を透過させることのない樹脂材（非透光性樹脂材）を用いて射出成形することにより一体的に射出成形されたものとなっており、左右方向長尺状体の一端部である前記突出先端部対応部位には、背面側から表面側に向けて折曲して形成された側面部 4 a が形成され、左右方向に長い面部には、下端部を底辺とし背面側に向けて三角形に膨出する膨出突部 4 b が三箇所形成されている。これら膨出突部 4 b のあいだとなる二箇所の下端面と、中央に位置する膨出突部 4 b の外方側（先端側）の側面と、前記側面部 4 a との都合四箇所の面は、それぞれ三次元的に異方向を向いており、これら各面がそれぞれ本発明の光源取付け面 4 c に構成されている。そして、これら光源取付け面 4 c には、それぞれ貫通孔 4 d が適数个開設されており、これら貫通孔 4 d に、後述する光源 7 の各先端部が臨み、貫通孔 4 d を介して光源 7 が背面側に向けて露出するように構成されている。また、インナーベース 4 の背面にはアルミニウムが蒸着されており、これによって、インナーベース 4 背面が各貫通孔 4 d を介して背面側に露出する光源 7 のリフレクタとして機能するように設定されている。

【0010】

一方、発光ダイオードで構成される光源 7 の基端部には、光源 7 を発光させるのに必要な配線が施されたプリント基板（以後、基板）8 が設けられている。該基板 8 は、各光源取付け面 4 c に設けられる光源 7 ごとに別個の基板 8、即ち、本実施の形態では四個の基板 8 が用意されており、これら四個の基板 8 は、インナーベース 4 の表面側に配設されることになるが、これら各基板 8 は、それぞれ対応する光源取付け面 4 c に沿って組込まれることによって、互いに三次元的に異方向を向く状態でインナーベース 4 に配設されている。そして、このように異方向を向いた各基板 8 への電源供給は、各基板 8 同志のあいだを接続する複数の端子板 9 を介してなされており、これら端子板 9 は、インナーベース 4 の表面形状に沿うよう、適宜折曲する等して形成されている。

【0011】

ここで、本実施の形態において、光源 7 が接続された複数の基板 8 は、各基板 8 の配設箇所にあわせて折曲された端子板 9 により予め接続されており、これに

よって光源ユニット B U に構成され、該光源ユニット B U をインナーベース 4 に組込むように設定されている。そして、インナーベース 4 の各光源取付け面 4 c の表面近傍には、突出先端に対応する基板 8 を係止するための係止爪 4 e が、各光源取付け面 4 c に対して略直交する方向に複数突出形成されており、これら各係止爪 4 e により各基板 8 形状に応じた適宜箇所を係止することにより、基板 8 は光源取付け面 4 c とのあいだに所定間隙を存する状態で固定支持されるように設定されている。さらに、インナーベース 4 には、端子板 9 の板面に沿うよう突設されて端子板 9 の支持をするための係止片 4 f が複数設けられている。これによって、光源ユニット B U をインナーベース 4 に組込んだとき、端子板 9 は係止片 4 f による支持を受け、基板 8 は係止爪 4 e による固定、支持を受けるように設定され、光源ユニット B U のインナーベース 4 への組込み状態が確りと固定されるように設定されている。

【0012】

また、前記四つの基板 8 のうち、任意の基板 8 a は主基板として機能しており、該主基板 8 a には、光源 7 の他に必要な制御部品や、外部電源接続用のリード線 10 が接続されたものとなっており、前記各端子板 9 は、主基板 8 a を基準として他の基板 8 とを接続している。そして、本実施の形態において、前記主基板 8 a から引き出されたリード線 10 は、インナーベース 4 の上方側に向けて引き出されるべく、インナーベース 4 に形成されたリード線誘導片 4 g により支持を受けている。

尚、11 は、前記リード線 10 の引き出し先端部に取付けられ、外部電源からの外部カプラ 14 に嵌合するためのカプラである。

【0013】

一方、前記アウターベース 5 は、光を透過させることのない樹脂材（非透光性樹脂材）を用いて射出成形することにより一体的に形成されたものとなっており、インナーベース 4 の表面側を覆蓋する形状であって、左右方向長尺状体の一端部（先端部）には、背面側から表面側に向けて折曲して形成された側面部 5 a が形成され、上縁部には、背面側に突出する上片部 5 b が形成されている。

そして、アウターベース上片部 5 b を構成する背面側端面には、板厚を切欠く

状態の段差状の突当て片部 5 c が左右方向二箇所において形成されている。さらに、アウターベース 5 の背面には、基端部側の傾斜状部に位置して背面側に突出する位置合せ突部 5 d が三箇所形成され、さらには、側面部 5 a に隣接する下縁部に位置して表面側に退避する位置合せ凹部 5 e が形成されている。

【0014】

これに対し、アウターベース 5 により覆蓋されるインナーベース 4 の上縁部からは、本発明の保持片に相当する突当て受け片部 4 h が上方に突出する状態で形成されており、後述するように、突当て受け片部 4 h の表面と背面との両面に、アウターベース 5 側の突当て片部 5 c と、レンズ部 6 とがそれぞれ突当てられ、これらによって挟み込まれるように設定されている。さらに、インナーベース 4 の背面側には、ドア取付け側の傾斜状部に位置し前記位置合せ突部 5 c が嵌合する位置合せ凹部 4 i が形成され、さらには、側面部 4 a に隣接する下縁部に位置して表面側に突出し、位置合せ凹部 5 e に嵌合する位置合せ突片 4 j が形成されている。

【0015】

そして、突当て受け片部 4 h の表面側を、段差状になった突当て片部 5 c の下側部位となるインナー突当て部 5 r に突当てる一方、突当て受け片部 4 h の表面側位置合せ突部 5 d を位置合せ凹部 4 i に嵌合せしめ、位置合せ凹部 5 e に位置合せ突片 4 j を嵌合せしめる状態で、インナーベース 4 とアウターベース 5 とを組込むことにより、これら各ベース 4、5 同士は、位置合せされた状態で、しかも、仮保持された状態となって組込まれるように設定されている。前記組込み状態において、これらインナーベース 4 とアウターベース 5 とのあいだには空隙部が形成されており、該空隙部に、前記光源ユニット B U を収容することにより、基板 8 や端子板 9 がこれらベース 4、5 から外部に露出することがないように構成されている。さらに、アウターベース 5 の外周縁部は、インナーベース 4 の外周縁部よりも外方に突出しており、インナーベース突当て受け片部 4 h 部位のみがアウターベース 5 の上面部 5 b に対して前後方向積層状に当接するように設定されている。

【0016】

また、アウターベース5の上面部5bには、インナーベース4のリード線誘導片4gにより上縁側に誘導されたリード線10を外部に引き出すためのカプラ支持片5fが形成されるが、該カプラ支持片5fは、前記一对の突当て片部5cのあいだに位置し、前記リード線10の先端と、該先端部に接続されたカプラ11の基端部とを收容するように設定されている。

さらに、アウターベース上面部5bには、前記一对の突当て片部5cの上方に続く状態で取付け片5gが突出形成されている。これら一对の取付け片5gは、それぞれアウターベース5のレンズ接合端縁である上面部5b背面側端部から離間する表面側部位から上方に向けて起立する突出基端片5mと、該突出基端片5mの先端縁から、レンズ接合反縁側である背面側に延出する折曲片5nと、該折曲片5nの先端縁から上方に向けて起立状に延出する起立片5pとを備え、略クランク形状に形成されている。これによって、ランプユニットLUをミラーブラケット2に取付けるための取付け用の起立片5pは、突出基端片5mからはレンズ接合端縁側に偏寄しており、レンズ接合端縁の上方に位置する位置関係となるように設定されている。そして、これら各取付け片5gには、上面部5bと、突出基端片5mと、折曲片5nとにより囲まれ、背面側が開口する矩形状のスペースが形成され、該スペースが、後述するように、ベース本体とレンズ6とを一体化するべく射出成型する時に、射出樹脂材12が充填される流路となるように設定されている。

尚、5qは、起立片5pに開設された取付け孔5qである。

【0017】

一方、レンズ部6は、透光性のない樹脂材で形成される下面部6a以外の部位は光を透過させる樹脂材（透光性樹脂材、透明樹脂材）を用いて射出形成することにより一体的に形成されたものとなっており、突出先端側に折曲形成された側面部6bと、上縁部から表面側に突出する上面部6cとが形成されている。前記下面部6aは、インナーベース4とアウターベース5との組込み部を越えて表面側に延出しているが、アウターベース5の下縁部に沿う部位に位置し、射出による樹脂材12が流入するための流路6dが段差状に形成されている。

【0018】

さらに、レンズ部 6 の上面部 6 c には、アウターベース 5 に形成されたカプラ支持片 5 f とともにカプラ支持部を構成するためのカプラ支持片 6 g が上方に突出する状態で形成されている。尚、レンズ部カプラ支持片 6 g は、レンズ部 6 を射出形成する場合の射入口となっており、このようにすることにより、レンズ部 6 の光源 7 を透光させる部位が射入口の痕跡によって損なわれないようにしている。

【0019】

また、レンズ部 6 の上面部 6 c には、アウターベース 5 の突当て片部 5 c に対向して突当て片部 6 i が形成されているが、該レンズ突当て片部 6 i は、アウターベース突当て片部 5 c 部位に形成される取付け片 5 g の間隙部 R の背面側端部位に嵌入するアウター突当て部 6 j と、インナーベース突当て受け片部 4 h の上端部背面に突当てられるインナー突当て部 6 k とが段差状に形成されたものになっている。そして、レンズ部 6 とベース本体とを突き合せたとき、インナー突当て部 6 k はインナーベース突当て受け片部 4 h に押圧状に突当てられる一方で、レンズ突当て片部 6 i のアウター突当て部 6 j と取付け片 5 g の突出基端片 5 m と間隙を存して対向しており、該対向間が間隙部 R に設定されている。

【0020】

そして、レンズ部 6 を、アウターベース 5 に予め仮保持状に組込まれたインナーベース 4 の背面を覆うようにして突き合せ状にセットしたとき、レンズ部 6 の上面部 6 c と傾斜状部の下縁部（レンズ部のベース本体接合端縁）との外端縁よりは内側部位には、インナーベース 4 外周よりも外方に突出するアウターベース 5 の外周縁部（ベース本体のレンズ接合端縁）が突当てられており、これら突当てられたアウターベース 5 の外周端縁とレンズ部 6 の外周端縁とのあいだに形成される段差状部が射出樹脂材 12 の流路となるように設定されている。そして、前記外周の流路と、下面部 6 a に形成された流路 6 d とにより構成されるランプユニット LU の周回り全域の流路に、非透光性樹脂材である樹脂材 12 を射出により充填（流入）することにより、インナーベース 4 とアウターベース 5 とにより構成されたベース本体と、レンズ部 6 とが一体化されるように設定されている。

【0021】

さらにこのとき、アウターベース側カプラ支持片 5 f とレンズ部側カプラ支持片 6 g とが突当てられており、該部位についても、前記ベース本体とレンズ部 6 との周回りを一体化をするために射出される樹脂材 1 2 が充填され、これによって、カプラ支持片 5 f、6 g 部位におけるレンズ部 6 とベース本体との一体化が同時的になされるように設定されている。

また、この樹脂材 1 2 の射出時において、取付け片 5 g 部位においては、前述したように、レンズ部 6 とベース本体とを突き合わせることにより、前記スペースの開口する背面がレンズ部 6 の突当て受け片部 6 i のアウター突当て部 6 j と間隙部 R を存して対向しており、該間隙部 R が、レンズ部 6 の外周端縁とアウターベース 5 の外周端縁とのあいだに形成される段差状の流路に連通されている。これによって、前記周回り全域に射出された樹脂材 1 2 が前記間隙部 R にも充填され、アウターベース上面部 5 b の背面側端部（レンズ接合端縁）にランプユニット L U 取付け用の取付け片 5 g（起立片 5 p）を起立状に設けたものでありながら、レンズ部 6 とベース本体とを樹脂材の射出により封止することができるように設定されている。

このように、レンズ部 6 とベース本体との射出成形による一体化は、カプラ支持片 5 f、6 g 部位における一体化に加えて、アウターベース 5 から外方に突出する取付け片 5 g 形成部位についても同時に一体化できるように設定され、これによって、一回の射出成形で、ランプユニット L U の周回り全域における封止ができて、高い防水性能を有するように設定されている。

【0022】

さらに、前記一体化の工程において、インナーベース 4 の突当て受け片部 4 h は、アウターベース 5 の突当て片部 5 c のインナー突当て部 5 r と、レンズ部上面部 6 c の表面側端面に形成された突当て片部 6 i のインナー突当て部 6 k とのあいだに押圧状に挟持される状態となっており、この状態において、アウターベース 5 とレンズ部 6 とを樹脂材 1 2 により一体化することにより、アウターベース 5 に仮保持される状態から、アウターベース 5 とレンズ部 6 とのあいだに挟持される固定状態となるように設定されている。

尚、レンズ部 6 の光源 7 対向部位の表面には、左右方向に長い突条 6 e や上下方向に長い突条 6 f が形成されているとともに、側面部 6 b 形成部位が外方に突出しており、これによって、光源 7 の光が多方向に分散され視認性を向上させるように設定されている。

【0023】

このように構成されたランプユニット L U は、取付け片 5 g を介してミラーハウジング 2 に取付けられるが、該取付けはつぎのようになされている。

つまり、ランプユニット L U は、レンズ部 6 が背面側を向く状態とし、ミラーハウジング 2 の背面側に開設された第二開口 H 2 に対して背面側から組込まれるように設定されており、ランプユニット L U の取付け片 5 g を、ミラーハウジング 2 に形成された左右に箇所を取付け片 2 c に突当てて、取付け片 5 g に開設された取付け孔 5 q とミラーハウジング取付け片 2 c に開設された螺子孔 2 d とを連通させ、取付け孔 5 q 側から挿通した螺子 1 5 を螺合することで、ランプユニット L U のミラーハウジング 2 への取付けがなされるように設定されている。

そして、ミラーハウジング 2 は、カバー体（本発明のキャップに相当する） 1 3 により背面側の上半部が覆われているが、該カバー体 1 3 は、下半部のランプユニット L U のレンズ部 6 と略面一になる状態で設けられ、レンズ部 6 よりも表面側に位置するランプユニット L U の取付け片 5 g を覆蓋するように設定されている。

【0024】

叙述の如く構成された本発明の実施の形態において、ドアミラー 1 に組込まれるサイドウinker部 S は、基板 8 や端子板 9 が配設されるインナーベース 4 の表面を覆うアウターベース 5 に、レンズ部 6 を一体的に組込んでランプユニット L U としてのものを、ミラーハウジング 2 に組込むように構成されている。このため、ドアミラー 1 の構成が簡略化されるばかりでなく、ドアミラー 1 への組込み作業が容易となる。

しかも、このものにおいて、サイドウinker部 S であるランプユニット L U をミラーハウジング 2 に組込む場合に、ランプユニット L U はミラー部 M が配設される側であるミラーハウジング 2 の表面側からではなく、背面側から組込まれ

、取付け片 5 g をミラーハウジング取付け片 2 c に突当てて、螺子 1 5 を螺合することにより固定されている。この結果、ランプユニット L U を交換する場合には、ミラー部 M をわざわざミラーハウジング 2 から取外すことなく取付け状態のまま、ランプユニット L U のみを取外すことができ、ランプユニット L U の交換作業を簡単かつ容易に行うことができることになって、作業性の向上が図れ、メンテナンス性の優れたものにすることができる。

【0025】

しかも、本発明が実施されたものでは、ランプユニット L U は、インナーベース 4 と、アウターベース 5 とを備えたベース体の背面側に対し、レンズ部 6 を突当てて、これらのあいだに射出される樹脂材 1 2 により一体化されたものに構成されている。このため、意匠性に優れるうえ、防水性にも優れており、ミラーハウジング 2 に取付ける際に防水性等を考慮する必要がなく、作業性の向上が計れる。

【0026】

さらに、このものにおいて、ランプユニット L U は、非透光性樹脂材で形成されたベース体側に設けられた取付け片 5 g を介してミラーハウジング 2 に固定される構成となっているため、ランプユニット L U からの光の漏れを最小限にできて、視認性の高いものにすることができる。

【0027】

そのうえ、このものでは、ミラーハウジング 2 の背面側においてランプユニット L U の上方に設けられるカバー体 1 3 が、ランプユニット L U の取付け片 5 g を覆蓋して外部に露出しないようにしているうえ、ランプユニット L U のレンズ部 6 と面一状になっていて、優れた意匠性を有したものにすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

ドアミラーの正面図である。

【図 2】

ドアミラーの背面図である。

【図 3】

インナーベースの平面図である。

【図 4】

インナーベースの一部拡大正面図である。

【図 5】

図 5 (A)、(B) はそれぞれランプユニットの背面図、正面図である。

【図 6】

図 6 (A)、(B)、(C) はそれぞれランプユニットの平面図、図 6 (A) の B-B 断面図、C-C 断面図である。

【図 7】

図 6 (A) の A-A 断面図である。

【図 8】

図 8 (A)、(B) はそれぞれランプユニットの底面図、ランプユニットの上縁部を説明する一部拡大斜視図である。

【図 9】

図 9 (A)、(B)、(C)、(D)、(E) はそれぞれ図 5 (A) における A-A 断面図、B-B 断面図、図 8 (A) における A-A 断面図、B-B 断面図、C-C 断面図である。

【図 10】

ドアミラーの斜視図である。

【図 11】

ランプユニットの取付け状態を説明するドアミラーの背面図である。

【図 12】

ドアミラーの断面図である。

【符号の説明】

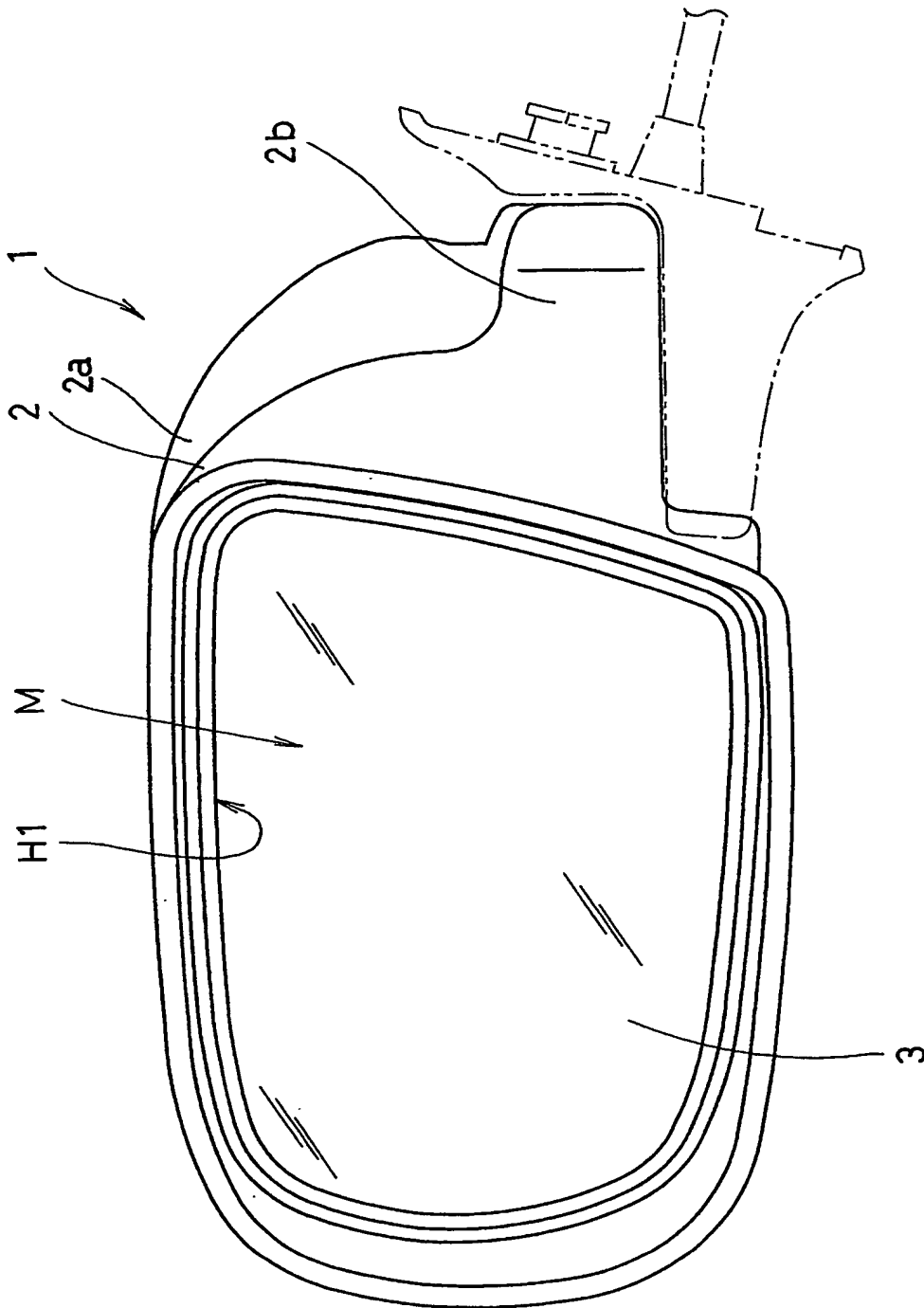
- 1 ドアミラー
- 2 ミラーハウジング
- 4 インナーベース
- 4 c 光源取付け面
- 4 d 貫通孔

4 e	係止爪
4 f	係止片
4 h	突当て受け片部
5	アウターベース
5 c	突当て片部
5 f	カプラ支持片
5 g	取付け片
6	レンズ部
6 g	カプラ支持片
7	光源
8	基板
9	端子板
1 0	リード線
1 1	カプラ
1 2	樹脂材
L U	ランプユニット

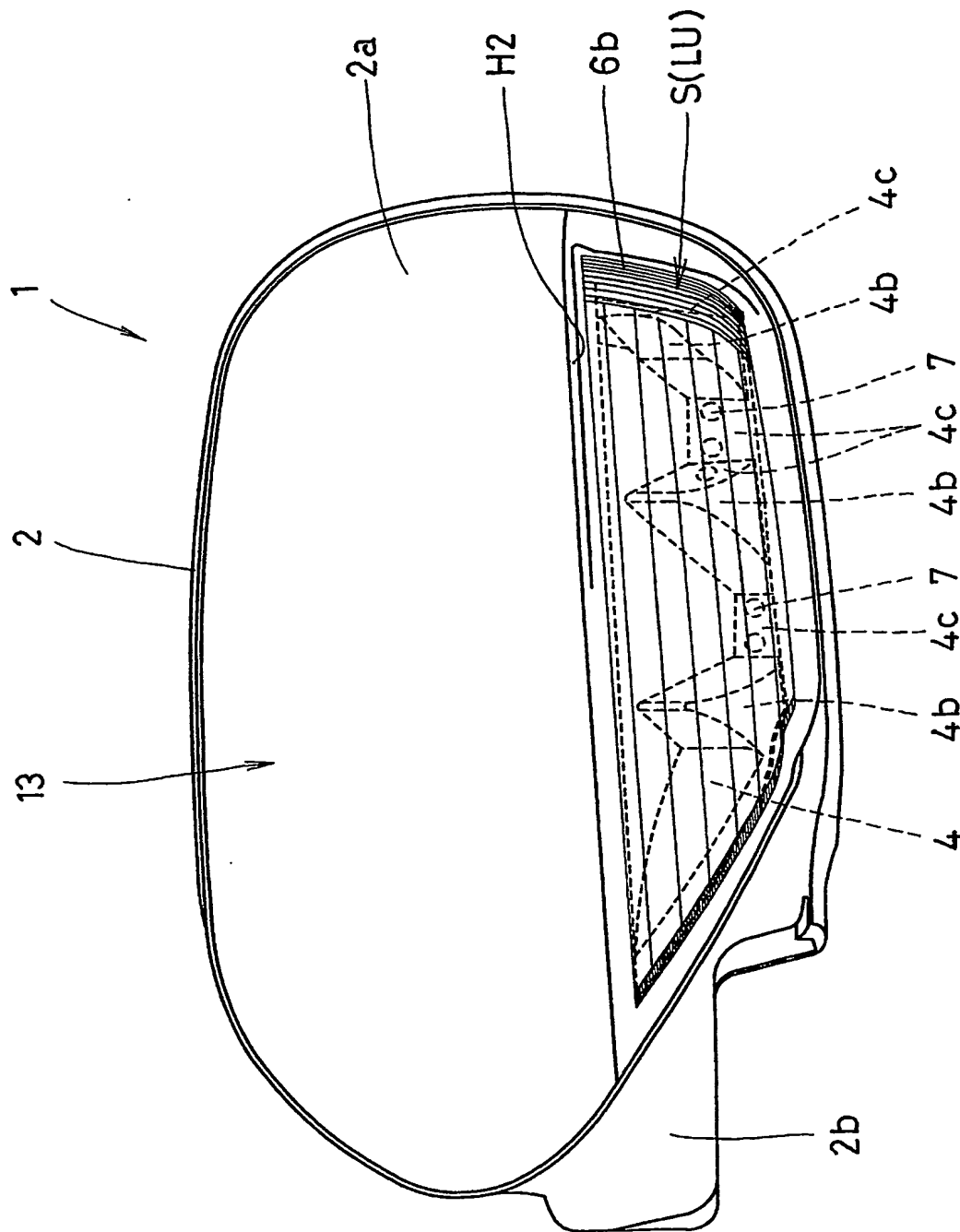
【書類名】

図面

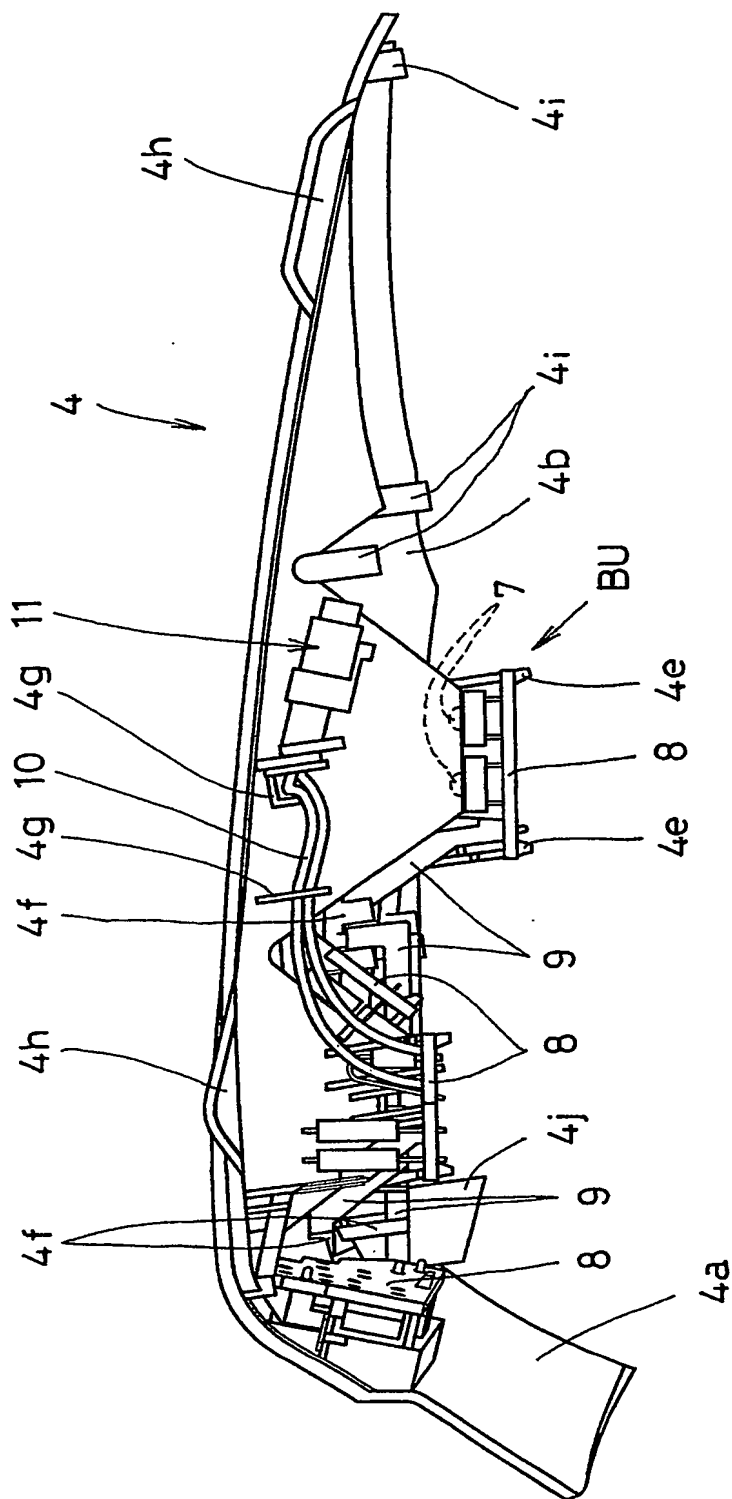
【図 1】



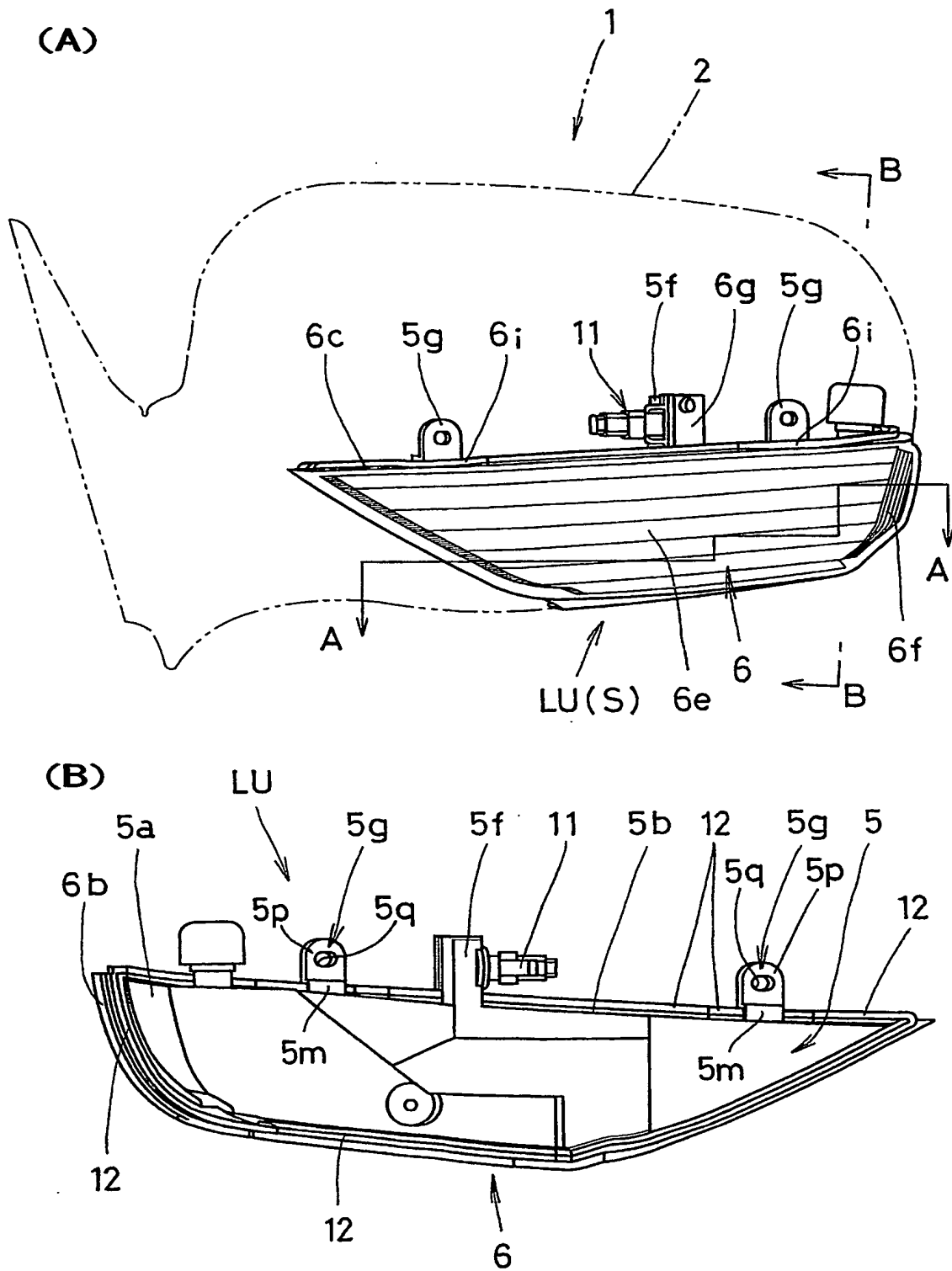
【図 2】



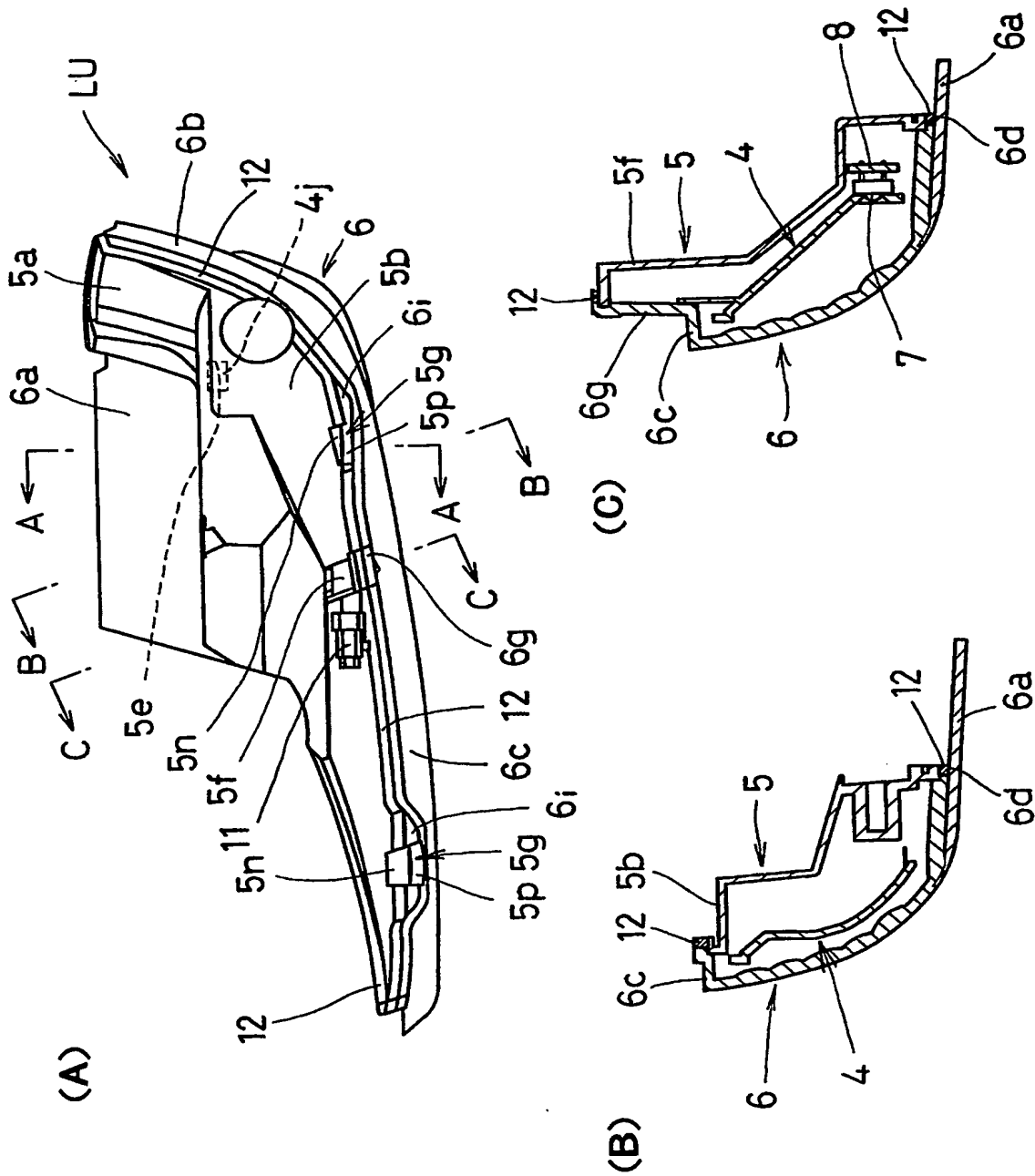
【図 3】



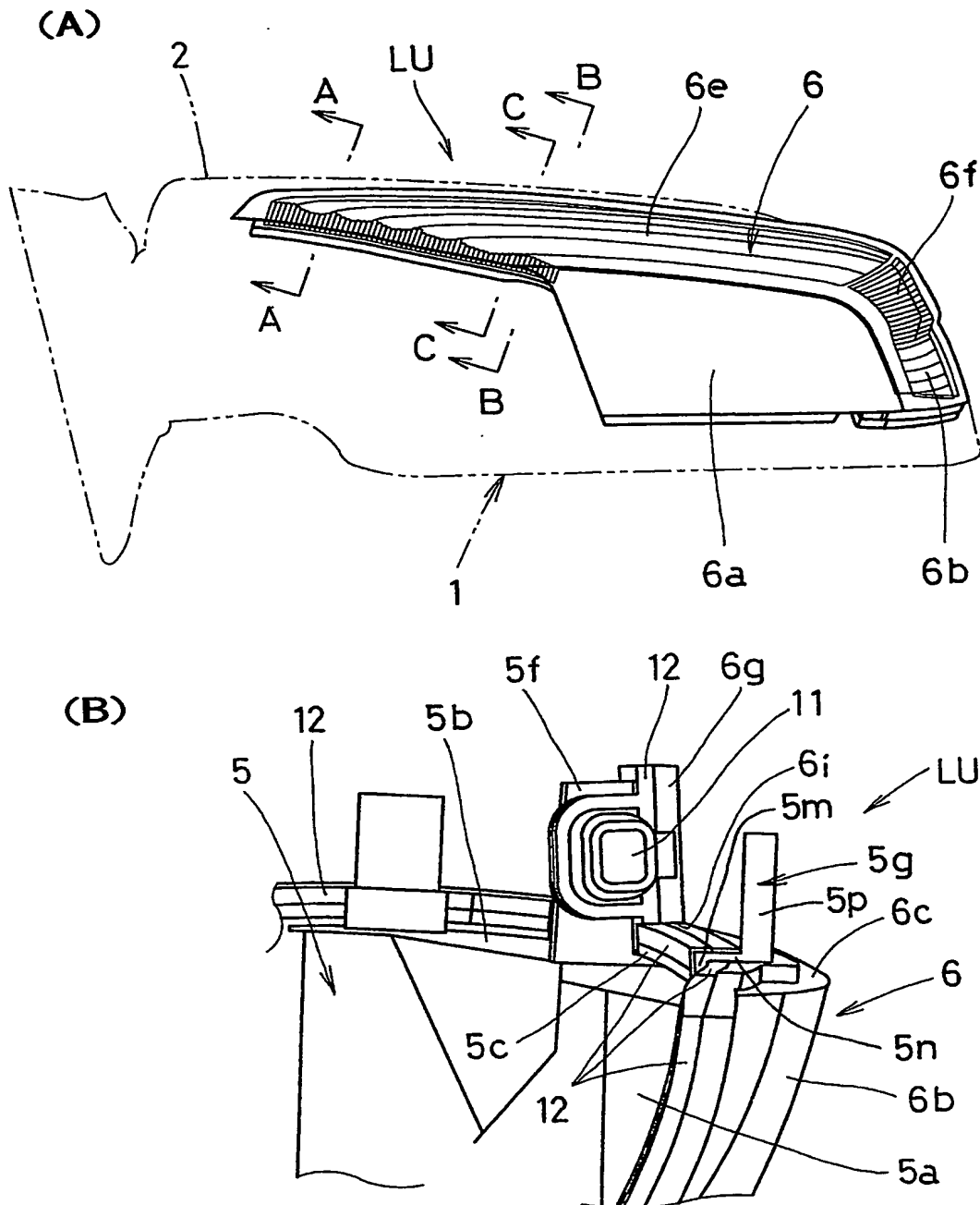
【図 5】



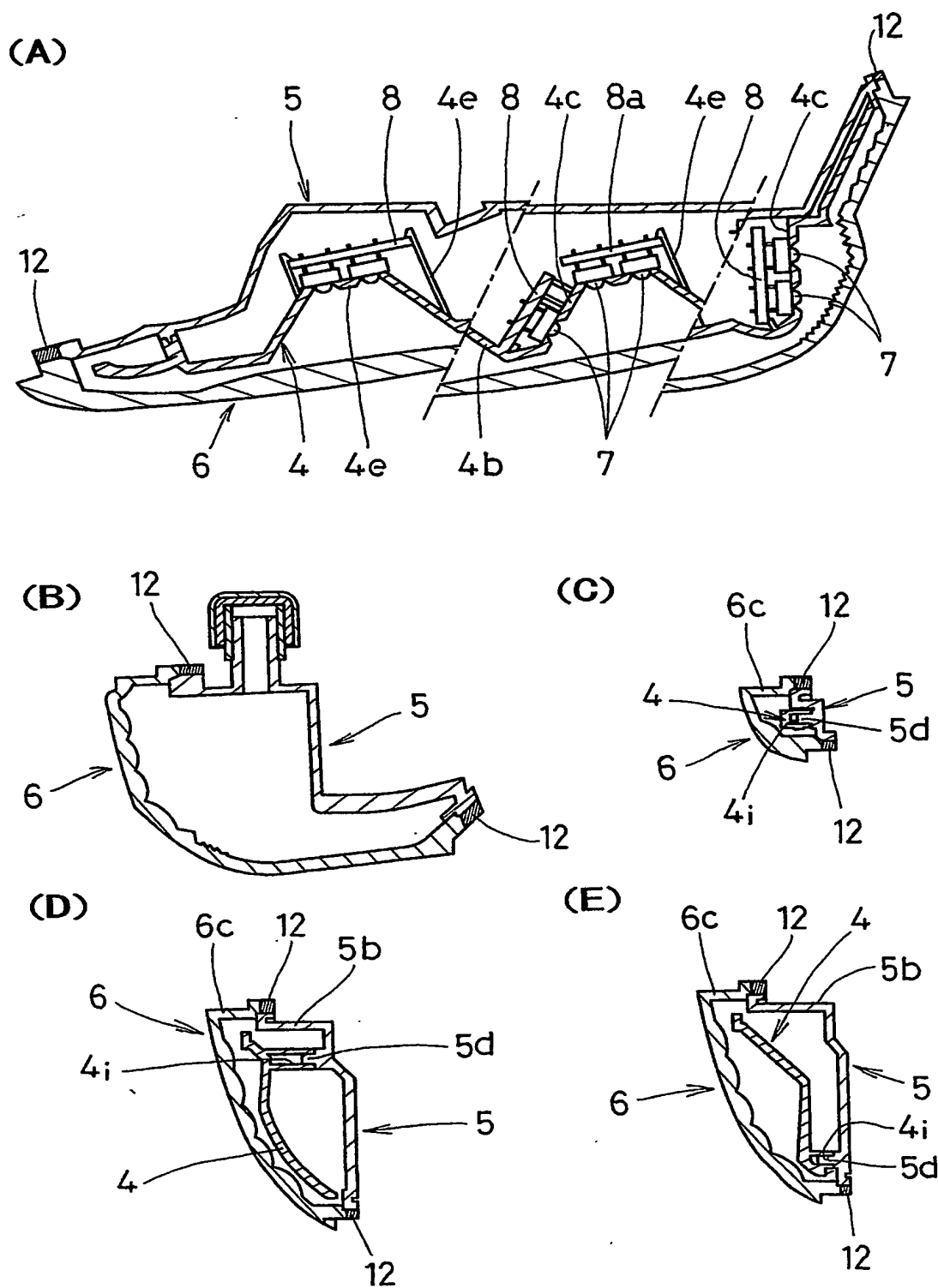
【図 6】



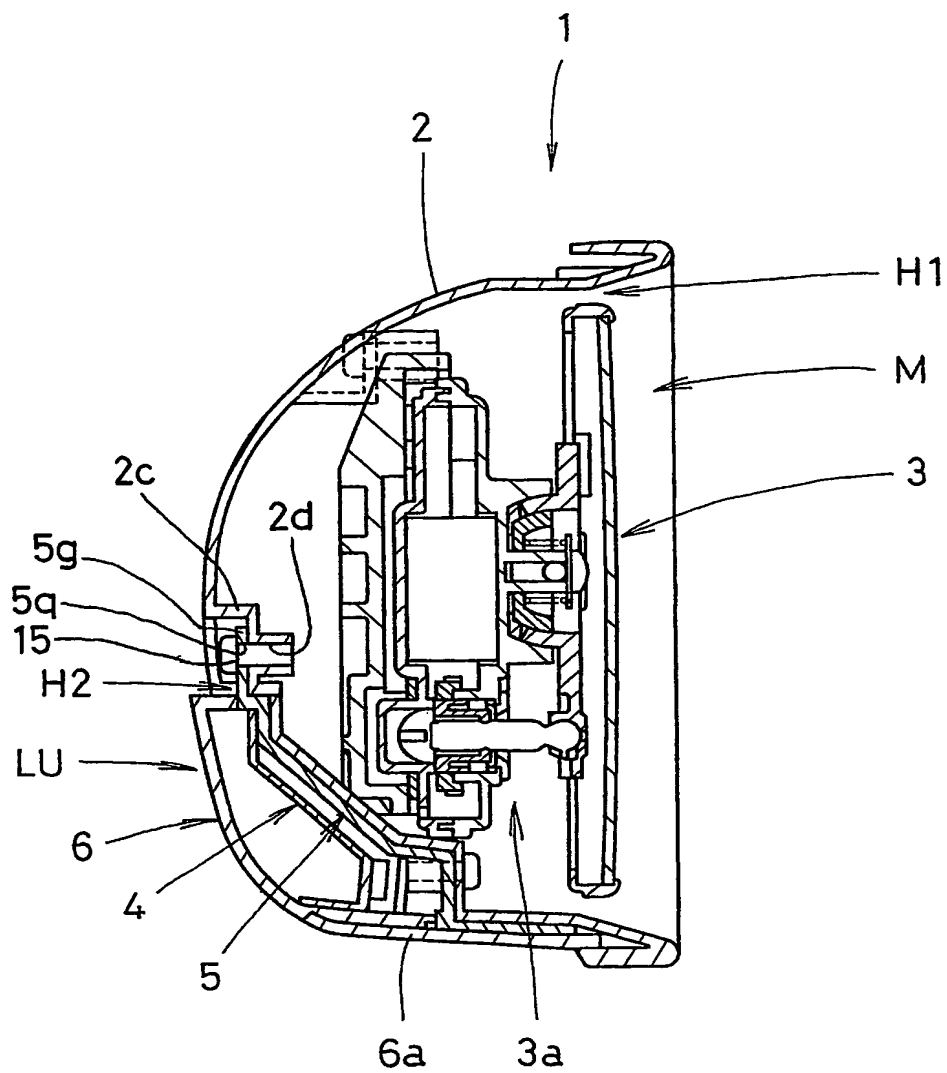
【図 8】



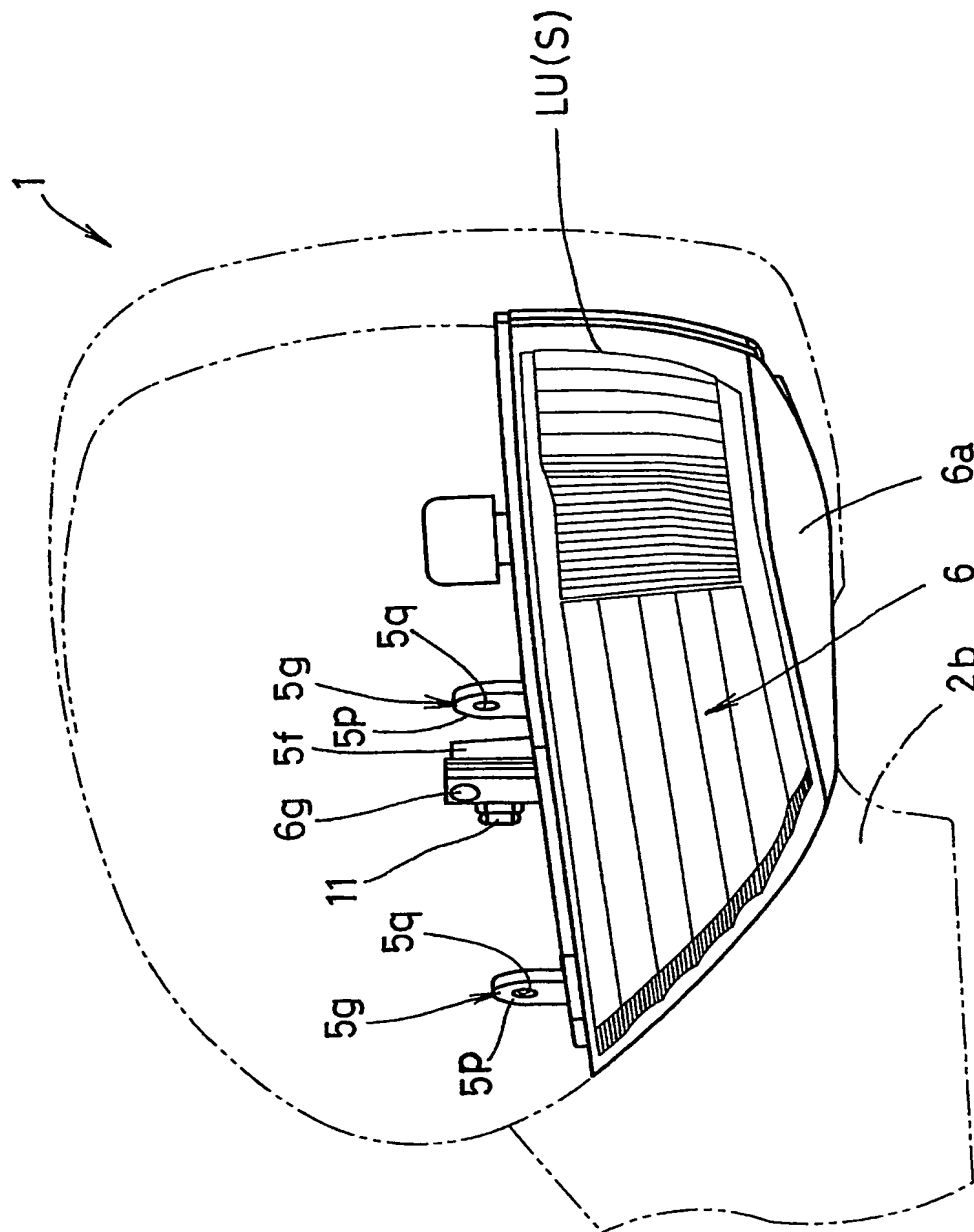
【図 9】



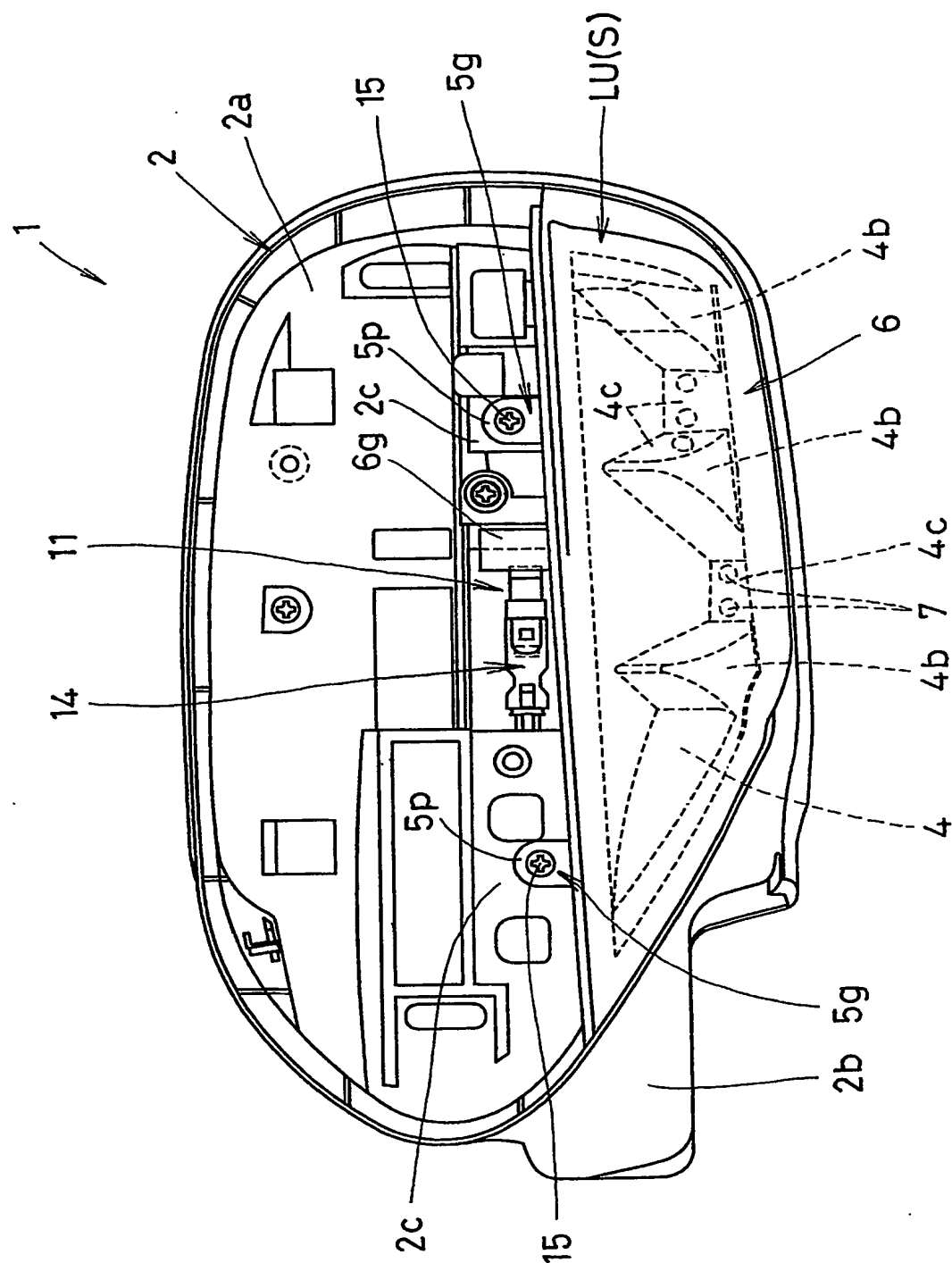
【図 10】



【図 11】



【図 12】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ミラー部と、サイドウインカー部とを設けてなるドアミラーにおいて、サイドウインカー部のメンテナンスが容易なものに構成する。

【解決手段】 ミラーハウジング 2 の背面側に第二開口部 H 2 を形成し、該第二開口部 H 2 に取付け片 2 c を形成する一方、インナーベース 4 とインナーベース 4 の表面を覆蓋するアウターベース 5 とを備えたベース体の背面にレンズ部 6 を一体化してなるランプユニット L U を構成し、該ランプユニット L U を、ミラーハウジング 2 の背面側から第二開口部 H 2 に組込み、ランプユニット L U の取付け片 5 g とミラーハウジング取付け片 2 c とを螺子 1 5 により螺合する構成とする。

【選択図】 図 1 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2003-082806
受付番号	50300482018
書類名	特許願
担当官	第三担当上席 0092
作成日	平成15年 3月26日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成15年 3月25日

次頁無

特願 2003-082806

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000144027]

1. 変更年月日
[変更理由]
住 所
氏 名

1996年10月 4日
名称変更
群馬県桐生市広沢町1丁目2681番地
株式会社ミツバ